

ギャラリー I・II

秀島由己男展 ダークファンタジー／ミステリアス 水俣が生んだ異才

Yukio Hideshima Retrospective: Dark Fantasy/Mysterious The Unique Artist from Minamata

会期 4月18日(土)～6月21日(日)

戦後日本版画の重要作家である、水俣市出身の画家・版画家、秀島由己男(1934-2018)の四半世紀ぶりの大回顧展を開催します。逝去ののち、代表作品や未発表作品、そして自己研鑽のため収集した西洋名画の銅版画、浮世絵など2200点が残され、居住地だった熊本県和水町に寄贈されました。本展は、2020年から当館が町と共同で進めてきた作品調査の成果をもとに、秀島の1950年代～2010年代の画業の全貌を、約260点を通して振り返るものです。



つぐ minä perhonen

TSUGU minä perhonen

会期 7月4日(土)～9月6日(日)

2025年に創設30周年を迎えたファッション・テキスタイルブランド、ミナペルホネン。そのものづくりは、デザイナーの手作業から生み出された図案からはじまり、熟練の職人たちとの対話や工夫を重ね、一枚の布、布から服、そして様々なインテリアプロダクトへと実を結んできました。本展では、100年後も存続するブランドとしてのあり方を模索してきたその活動を、原画やテキスタイル、刺繍、織、プリント工場の様子などを通してご紹介します。



"surplus" 2003-04 a/w

プラカードのために

For a Placard

会期 9月19日(土)～11月29日(日)

美術家・田部光子(1933-2024)は、1961年に記した文章「プラカードの為に」において、「大衆のエネルギーを受け止められるだけのプラカードを作り、「たった一枚のプラカードの誕生によって」社会を変える可能性を語りました。その言葉と作品を出発点とする本展は、社会や歴史を見つめ直し、抵抗の方法を探りながら、表現することの意味に立ち返る7名の作家によるグループ展です。

出品作家：田部光子、牛島智子、志賀理江子、金川晋吾、谷澤紗和子、飯山由貴、笹岡由梨子

田部光子「人工胎盤」1961年/2004年
熊本市現代美術館蔵

2027年1月～3月末まで、ギャラリー I・II 等で照明のLED化工事を行います。

よりよい展示環境とするため、ご理解とご協力をお願いします。※その他のスペースは通常通りご利用いただけます。

同期間に館内各所で、音や光、水、気圧などの自然現象を介して、遠くへと想像を広げるような空間インスタレーションを展開します。期間中はパフォーマンスイベント等も開催します。ぜひご来館ください。

ギャラリー III (GIII) ・井手宣通記念ギャラリー

小さな企画展示室。九州・熊本ゆかりのアーティストを中心に紹介するGIIIと、収蔵作品を中心に紹介する井手ギャラリーがあります。入場無料です。

熊本地震と文化的処方

一私の心が動きはじめるとき一展

会期 3月20日(金・祝)～6月14日(日)

被災した時、あなたが笑顔や何かを楽しむ気持ちを戻したきっかけは何でしたか。自分の心を守るためにできることはなんでしょう。皆さんと一緒に考える展覧会です。

ソー・ソウエン「Air Condition」

会期 6月20日(土)～8月23日(日)

身体を起点に「生」にまつわる思考を、絵画やパフォーマンスなど様々な表現を通して実践するアーティスト、ソー・ソウエンの個展。「呼吸」をテーマにした新作を発表します。

熊本市の夏の名物！

こどもおもしろおばけやしき
10周年記念大アーカイブ展(仮)

*予定

会期 8月26日(水)～10月25日(日)

公演10周年を記念して、2016年から2025年までの貴重な資料などアーカイブを展示します。会場には「ミニおばけやしき」も！トークや体験など、関連イベントも開催します。

無料で楽しめる館内スペース / FREE SPACE

■ アートラボマーケット

創作ワークショップからショッピングまで、クリエイティビティを刺激するコミュニケーションスペース&ショップ。

いつでも気軽に参加できるワークショップや、アーティストと作品作りに挑戦するものも。ホームページで予定を確認してぜひご参加ください。ショップでは、様々なアーティストの作品やオリジナルグッズに出会えます。



Photo by Shintaro Yamanaka (Qsyum!)

■ ホームギャラリー

アート本から漫画まで、魅力的な本が並ぶ美術図書館。

空間そのものが、マリナ・アブラモヴィッチの作品です。天井にはジェームズ・タレルの作品、夜7時からはピアノの生演奏も（不定休）。



マリナ・アブラモヴィッチ《Library for Human Use》2002年
©Marina Abramović、熊本市現代美術館
ジェームズ・タレル《MILK RUN SKY》2002年、熊本市現代美術館

■ 街なか子育てひろば

親子で気軽に立ち寄って遊べる創造的な空間。

子育てアドバイザーが常駐し（10時～15時30分）子育て相談や情報収集、交流もできます。

開館時間・入場料 / HOURS・ADMISSIONFEES

開館時間	10:00～20:00（有料展覧会の入場は19:30まで）
休館日	火曜日（火曜日が休日の場合は、その翌平日） 年末年始
入館料	無料
観覧料	展覧会によって異なります *各種障害者手帳等をご提示の方とその付き添い1名は無料 *10月12日は開館記念日のため入場無料



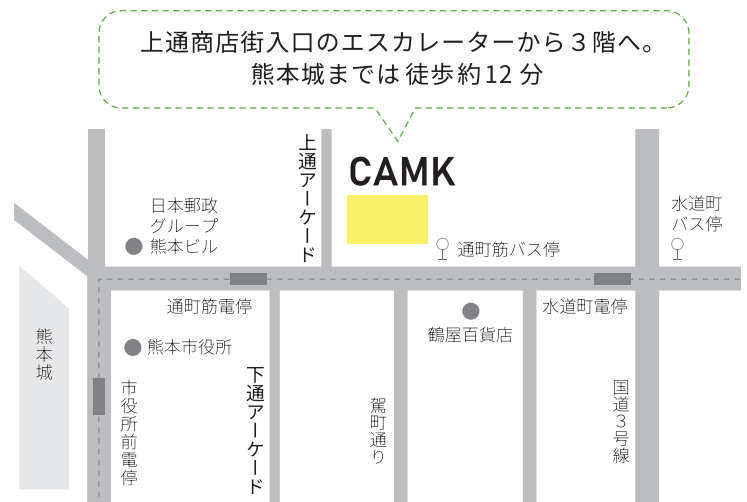
草間彌生《早春の雨》2002年、熊本市現代美術館

交通アクセス / ACCESS

熊本市現代美術館は「通町筋（とおりちょうすじ）」バス停・電停下車目の前です。

- 阿蘇くまもと空港から
リムジンバス（約40分）「通町筋」で下車
- JR 熊本駅から
市電・バス（約15分）「通町筋」で下車

*美術館は交通アクセスのよい熊本市街地中心部にありますので、できるだけ公共機関をご利用ください。
*美術館専用の駐車場はございません。「びぶれす熊日会館」駐車場（有料）や周辺のコインパーキングをご利用ください。



CAMK 熊本市現代美術館

〒860-0845
熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3F
TEL 096-278-7500 FAX 096-359-7892

WEB サイト



www.camk.jp



Instagram



X



Facebook